



7月28日(日)、完成間近のうめきた公園にて  
中高生向け「防災学習会」を開催します  
～まちびらき前のうめきた2期区域をご見学頂けます～

独立行政法人都市再生機構(以下、「UR都市機構」)は、うめきた2期区域で、大阪府、大阪市、三菱地所株式会社を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者JV9社<sup>\*1</sup>(以下、「グラングリーン大阪開発事業者」)、JR西日本等と連携し、都心部におけるこれまでにない魅力をもった大規模な「みどり」の空間の創出や、ライフデザイン・イノベーションをテーマとした新産業の創出拠点の形成等により、「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」の実現を目指しています。

この度、うめきた2期区域「グラングリーン大阪」の9月6日の先行まちびらきに先立ち、完成間近の防災公園である「うめきた公園」の現地見学等を行う「防災学習会」を7月28日(日)に開催します。

まちびらき直前のうめきた2期エリアの様子をご覧いただける貴重な機会となっております。報道関係の皆様におかれましては、ご多忙中とは存じますが、取材いただきたく、ご案内申し上げます。



【今年3月に実施した現地見学会の様子】

UR都市機構は、うめきたエリアのまちづくりの意義や背景を広く市民の方に理解していただきたく取り組みを進めています。

防災学習会は、「グローバルユース防災サミット」※2(主催:グローバルユース防災サミット実行委員会、事務局:ママコミュ!ドットコム※3)との連携企画で、未来を担う中高生を対象に、大阪における災害リスクを学んでいただきながら、「うめきた公園」の防災機能を知っていただく内容です。

同日15時から、市民の皆様を対象とした「うめきた現地ツアー」もあわせて開催します。

◆イベント概要 (参加者の募集は終了しています)

<午前の部>

- (1) 日 時 7月28日(日) 10時00分～12時00分(予定)
- (2) 場 所 UR都市機構うめきた都市再生事務所(グランフロント大阪南館17階) 及び うめきた公園
- (3) 参加者 グローバルユース防災サミットに参加する中高生 約20名
- (4) 主 催 グローバルユース防災サミット実行委員会・UR都市機構
- (5) 企画内容 ①大阪の災害リスクを学ぶ(大阪公立大学 生田英輔教授)  
②新しく完成するうめきた公園の防災機能を学ぶ  
③うめきた公園を実際に歩いてみる

<午後の部>

- (1) 日 時 7月28日(日) 15時00分～17時00分(予定)
- (2) 場 所 UR都市機構うめきた都市再生事務所(グランフロント大阪南館17階) 及び うめきた公園
- (3) 参加者 一般の方 約20名
- (4) 主 催 UR都市機構
- (5) 企画内容 ①グラングリーン大阪って何ができるの?  
～大きな模型で完成形を見てみよう!～  
②うめきた公園を歩いてみよう!

◆取材申し込み

ご取材を希望される方は7月26日(金)正午までに、UR 都市機構 西日本支社 総務部 総務課(広報担当)(email: h-omoteda@ur-net.go.jp)までご連絡下さい。当日の撮影につきましては、撮影箇所を制限させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※1 三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、うめきた開発特定目的会社

※2 大阪・関西エリアで防災を学び、個人、グループ、学校などの単位で活動に取り組むユース(10代、20代)が中心となり、地域的視点と世界的視点の双方から「災害に強い社会」の実現をめざし、自らの活動を持続発展可能なアクションに変える社会貢献活動に取り組んでいる団体。2021年から国内及びドイツやトルコのユースとの交流や防災学習を積み重ね、来年の大阪・関西万博でのサミット開催に向かって活動中。

(<https://resilabo.org/bosaisummit/>)

※3 大阪うえまちで活動する知育、食育、グローバル教育、SDGsまで幅広いテーマで子育て仲間をつなげる非営利のコミュニティ。大阪市市民活動グランプリ最優秀賞【大阪市長賞】受賞。

<本件に関するお問い合わせ先>

UR 都市機構 西日本支社 総務部 総務課(広報担当) TEL: 06-4799-1231

## ■うめきた公園の概要

計画地	大阪市北区大深町地内（大阪都市計画公園 5・4・32 号大深町公園）
公園名称	うめきた公園
面積	約 4.5ha
整備	整備主体：大阪市・UR 都市機構（以下「公共」） 整備手法：防災公園街区整備事業（一部、土地区画整理事業） 公共によるベースグレードの公園整備に加え、グラングリーン大阪開発事業者のデザイン提案等によるまち全体の魅力を高めるアップグレードを実施後、大阪市の移管予定。
設計	基本設計：株式会社日建設計・株式会社三菱地所設計 実施設計：株式会社日建設計
施工	大林組・竹中工務店・竹中土木特定建設工事共同企業体

## <本件が取り組む SDGs>



## <UR 都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

## <UR都市機構公式サイト>

<https://www.ur-net.go.jp/>



## <うめきた都市再生事務所 Instagram>

<https://instagram.com/umekita2ur>

